

取扱説明書

FlexView® 150

アーム式液晶マルチモニター

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。



注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取扱いをしてください。

本製品は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

- 本製品は BBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
- 本製品は BBE Sound, Inc. の所有する米国特許第 4638258 号、第 5510752 号および第 5736897 号を使用しています。

BBE®

Copyright© 2005 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

BBE および BBE のシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

EIZO、FlexView は株式会社ナナオの登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

 使用上の注意	4
第 1 章 はじめに	9
1-1. 特長	9
1-2. 梱包品の確認	9
第 2 章 接続	12
2-1. 接続手順	12
2-2. タッチパネルの設定について	18
第 3 章 調整・設定	19
3-1. 「調整・設定メニュー」の操作方法	19
3-2. TV チャンネル設定	21
3-3. FM ラジオの周波数設定	23
3-4. 映像設定	24
3-5. 音声設定	24
3-6. リセット	25
第 4 章 コンピュータを使用する	26
4-1. 画面調整	26
4-2. カラーモード	27
4-3. パワーセーブ機能	27
4-4. リモコンをマウスとして使用する	28
第 5 章 故障かなと思ったら	29
第 6 章 お手入れ	31
第 7 章 仕様	32
第 8 章 用語集	36
アフターサービス	37

⚠ 使用上の注意

重要

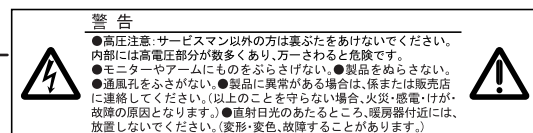
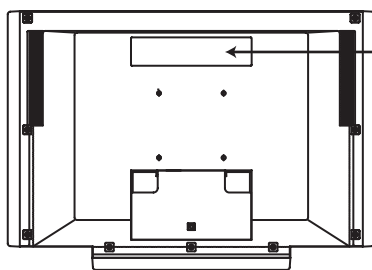
- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

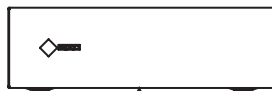
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】

＜モニターユニット背面＞



＜インターフェースユニット底面＞



⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



故障状態で使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災や感電の原因となります。電源を切り、電源プラグを抜いて、修理をエイゾーサポートまで依頼してください。



警告

修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く、床頭台の場合は、取付用器具およびモニターなどの重量に、十分耐え得る床頭台に設置する

不安定な場所に置くと、モニターや床頭台が、落下、転倒することがあり、けがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。



電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

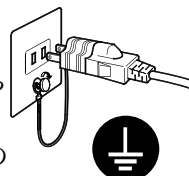
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界放射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



警告

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（オプションを含む）、取付用器具を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、本機に付属のネジを使用し、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したアームを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



床頭台など、取付用台を移動する場合は、アームを収納して移動する

アームを引き延ばした状態で移動すると、アームが周囲にぶつかったり、不安定なため、倒れたりしてけがや故障の原因となります。



定期的にアームの固定部を確認する

定期的にアームの固定部やバランスに異常がないか確認してください。固定部がゆるんだりしていると、アームが倒れてけがの原因となります。



モニターやアームを動かすときは注意する

- アームに手を挟まないように注意する
- 周囲にぶつからないように注意する



モニターやアームにもものをぶらさげない

モニターやアームにもものを取り付けたり、ぶら下げたりしないでください。倒れたり、外れたりして事故やけがの原因となります。



アーム内に引き込まれたケーブルを引っ張らない

ケーブルが断線したり、破損して火災、感電の原因となります。



警告

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



コード類の配線に注意する

人の往来などの妨げにならないように配線してください。コードに手足を引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



注意

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



液晶パネルについて

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、明るさ（バックライトの調整）を下げて使用されることをおすすめします（マニュアル調整方法は P.24 参照）。

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用されるバックライト（蛍光管）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

パネル面を固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないでください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。コンピュータを使用する場合は、液晶パネルを保護するために「パワーセーブ」機能の活用をおすすめします。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

第 1 章 はじめに

このたびは当社アーム式液晶マルチモニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。

1-1. 特長

- 15 型、高輝度 TFT 液晶採用による大型で明るい画面表示
- 周囲の照度変化に対応した自動調光
- 地上波放送 1～62CH とケーブルテレビ (CATV) 放送 C13～C63CH より、35 チャンネル分までのプリセットが可能 (ケーブルテレビを利用する場合は、ケーブルテレビ事業者との契約が必要です)
- オートプリセットによるチャンネル自動検出をサポート
- コンピュータ接続
アナログ信号入力時 24～50kHz (55～75Hz (1024x768 は 55～60Hz))
デジタル信号入力時 31.5～48kHz (60Hz (VGA TEXT 時 70Hz))
- USB ケーブル接続によるリモコンのマウス機能を実現
- 抗菌樹脂リモコン、設置のしやすさを考慮したフック採用
- BBE High Definision Sound (ハイデフィニションサウンド) を採用
人の声や楽音を原音に極めて近いリアルな音で再現します。

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

- モニターユニット
[FV150-MN1: タッチパネルなし] または [FV150-MN2: タッチパネル装着]
- ケーブルカバー取付用ネジ (M3x10) 1 個
- モニター取付用ネジ (M4x12) 4 個
- インターフェースユニット (電源コード付き) [FV150-TU]
- 二芯アダプタ
- インターフェースユニット取付用金具 4 個
- リモコン^{*1}
- 取扱説明書 (保証書付き)
- 梱包品チェックリスト

^{*1} リモコンは必ず付属品を使用してください。

[アームユニット付属の場合]

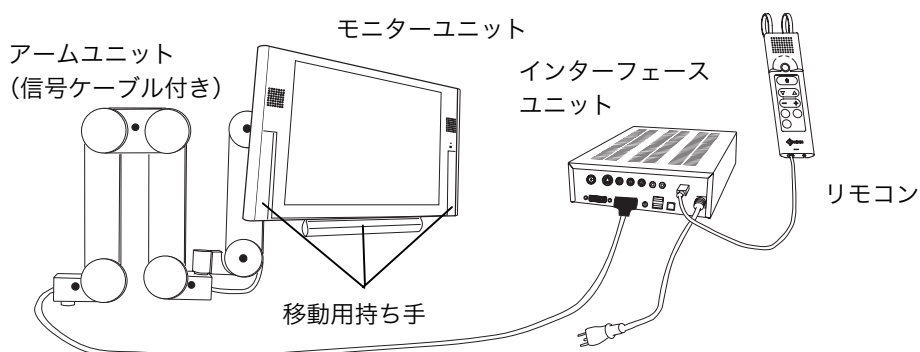
- アームユニット [FV150-AM1: 3m 信号ケーブル付き]
または [FV150-AM2: 5m 信号ケーブル付き]

(次ページに続く)

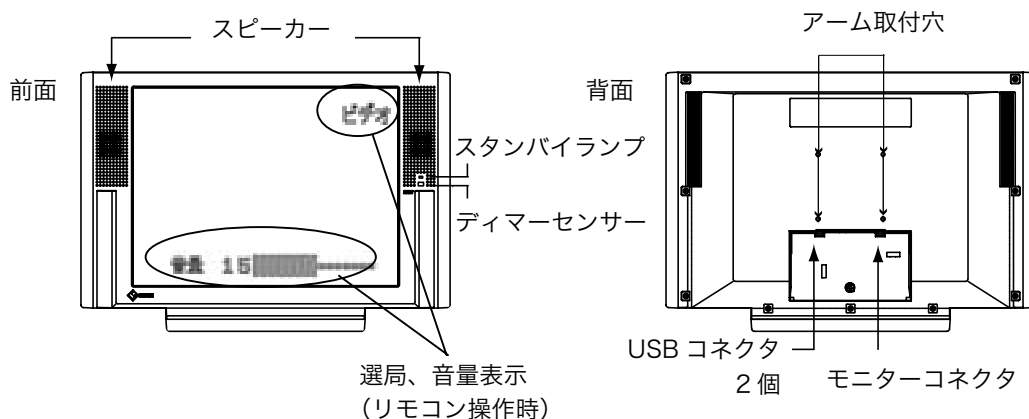
[タッチパネル装着モニターの場合]

●ドライバーCD-ROM (タッチパネル取扱説明書付き)

1-3. 各部の名称



モニターユニット



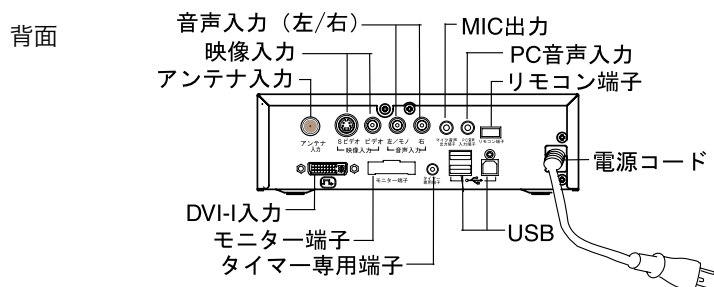
● スタンバイランプ

赤	スタンバイ	緑	FM 放送受信中
オレンジ	コンピュータパワーセーブ	消灯	TV、ビデオ、コンピュータ表示時
		赤点滅	ビデオ、コンピュータ未接続時

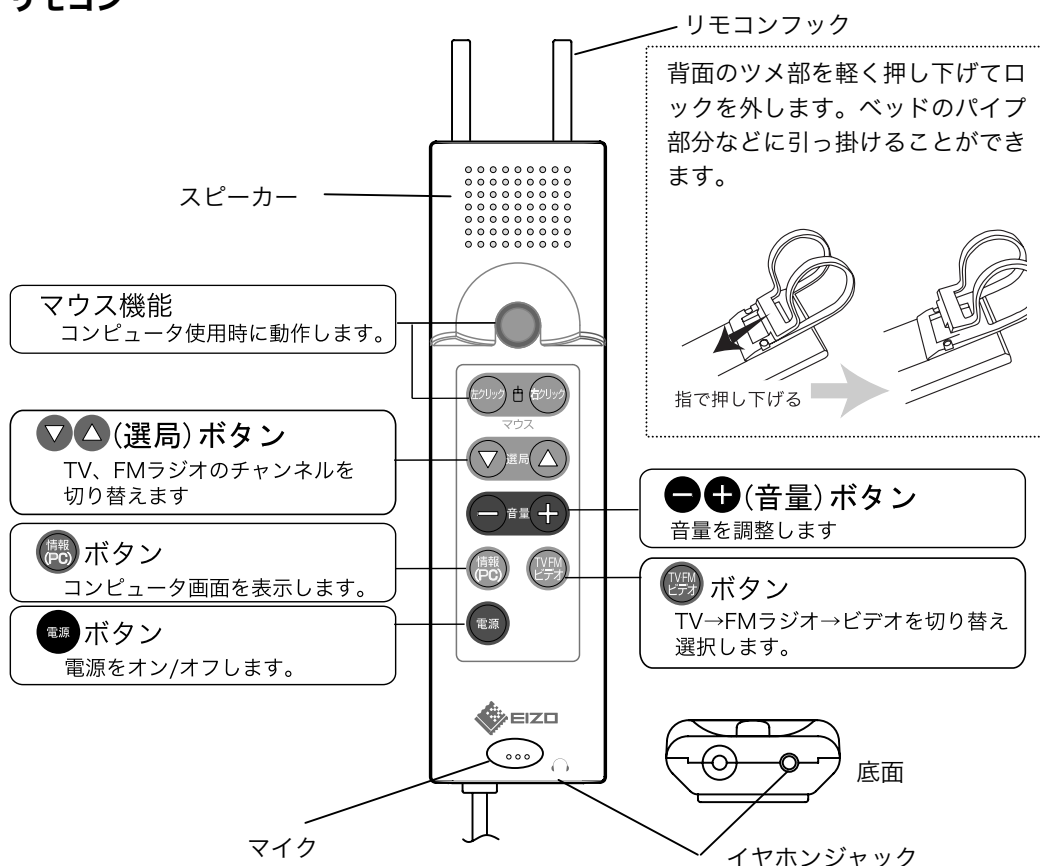
● ディマーセンサー

ディマーセンサーが周囲の照度変化に応じて画面の明るさを自動的に調整します。
ディマーセンサーを使用しない場合は P.24 を参照してバックライト設定をマニュアルにしてください。

インターフェースユニット

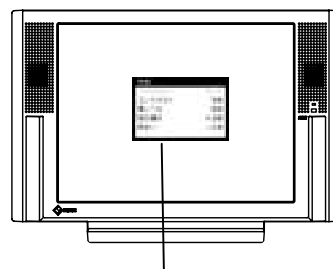


リモコン



参考 リモコンの調整・設定ボタン機能

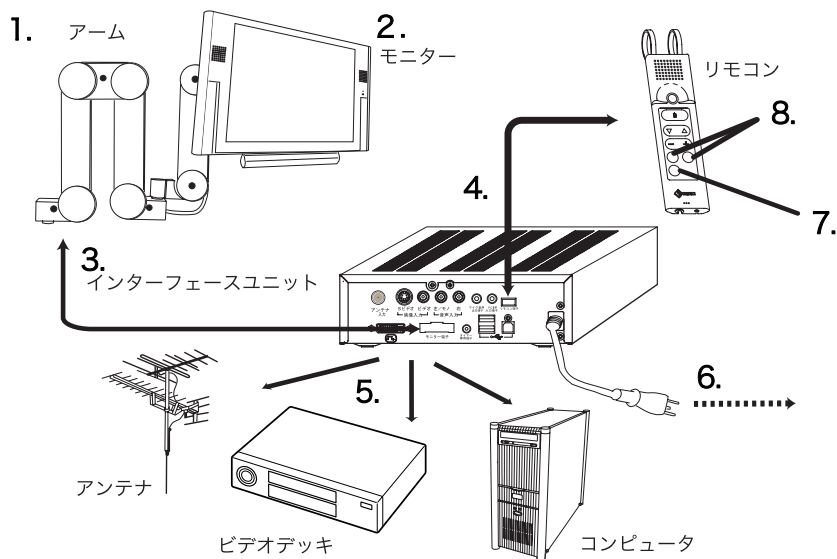
情報(PC) ボタンを2秒以上押すと、モニターに「調整・設定メニュー」(OSD (オンスクリーンディスプレイ)) が表示され、リモコンのボタンは調整・設定ボタンに切り替わります。⇒ (詳細は p.19 参照)



「調整・設定メニュー」
(OSD 表示)

第2章 接続

2-1. 接続手順

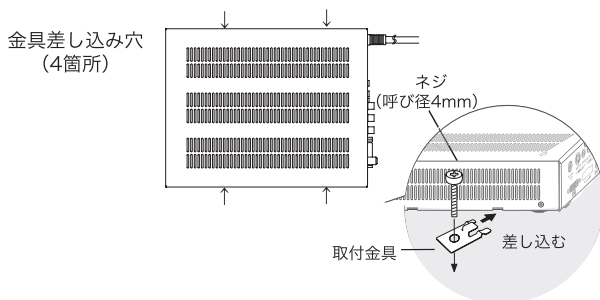


注意点

- 接続の際は、ケーブルを各コネクタにしっかりと差し込んでください。ケーブルは挟み込みがないように引き回してください。
- アームの付属がない場合は、別途オプションアームと信号ケーブルを準備してください。
- アームを固定するオプションアーム取付用器具を準備してください。
- FM 放送、TV 放送を受信する場合は、市販のアンテナ線を準備してください。

参考 インターフェースユニットを固定する場合

- 付属のインターフェースユニット取付用金具と、別途取り付ける側の仕様に合わせて市販のネジ(呼び径 4mm)を用意してください。取り付け側はしっかりと固定できる場所を選んでください。
- 取付用金具をインターフェースユニットの穴 (4 箇所) に差し込み、ネジで固定します。



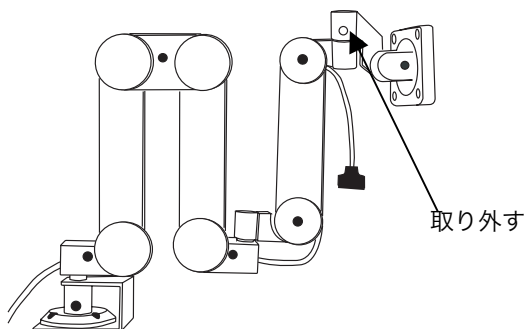
ここでは、本機専用床頭台アームの取付方法を紹介します（別途ドライバーを準備してください）。

1. アームを設置場所に取り付けます。

取り付け用のオプションアーム取付用器具を使用して取り付けます。取付方法はオプションアーム取付用器具に付属の説明書を参照してください。

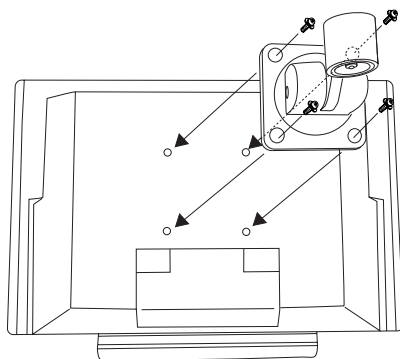
2. アームにモニターを取り付けます。

(1) アーム上部についている金具（モニターマウント金具）を取り外します。ネジ止めされていますので、ネジをはずしてください（1本）



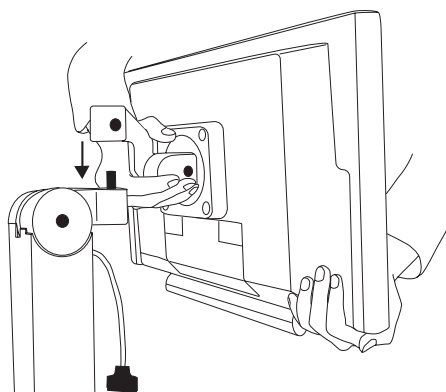
(2) モニターマウント金具をモニターの背面に取り付けてください。

- ① パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上にパネル面を下に向けて置きます。
- ② 付属のネジ（M4 x12）を使って、金具を取り付けます。

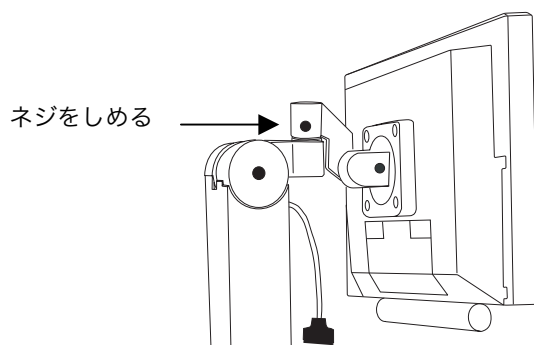


(3) モニターマウント金具を取り付けたモニターをアームに取り付けます。

① アームの取り付け軸にモニターマウント金具を合わせて挿入します。

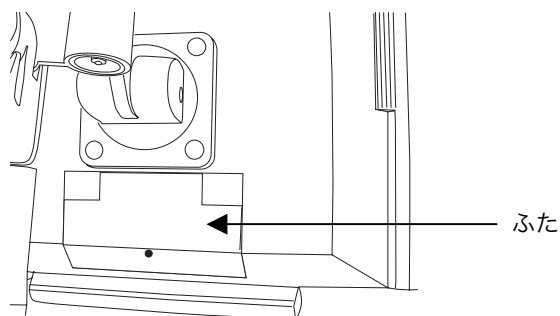


② アームの取り付け軸とモニターマウント金具の穴位置を合わせて、ネジ止めします。

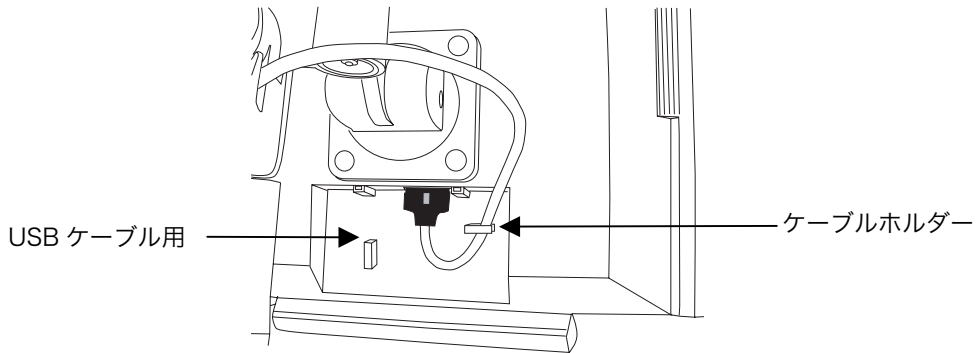


(4) アームの中に通っている信号ケーブルをモニター端子に接続します。

① モニター背面のふたを外します。



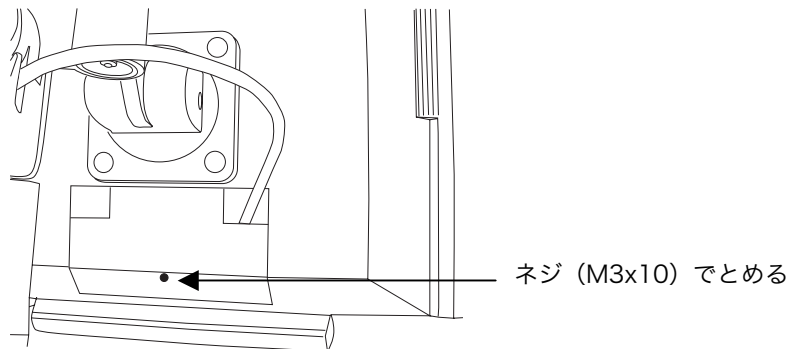
- ② ケーブルを接続します。
- ③ 図のようにモニターのケーブルホルダーにケーブルを固定します。



注意点

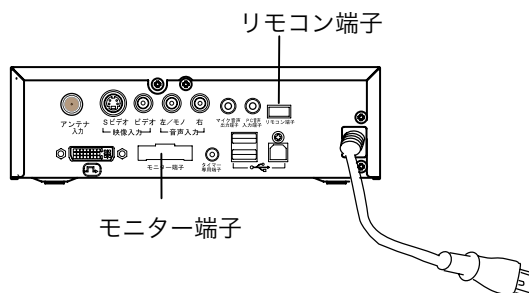
- もう一つの固定クランプは USB 機器を接続する場合に使用してください。

- ④ ふたをかぶせて、付属のネジ (M3x10) でしっかり閉めます。

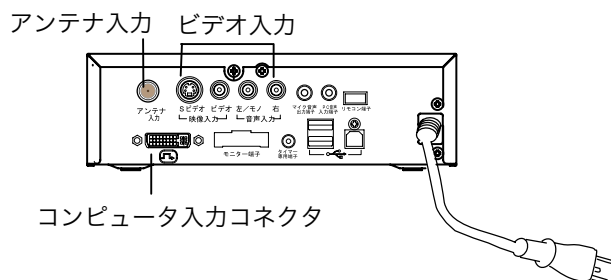


3. インターフェースユニットの「モニター端子」に、モニターの信号ケーブルを接続します。

4. リモコンをインターフェースの「リモコン端子」に接続します。



5. 外部機器をインターフェースユニットに接続します。



ビデオ機器を接続する

- (1) ビデオ機器の映像ケーブルを「映像入力コネクタ」(Sビデオまたはビデオ)に接続します。
- (2) ビデオ機器の音声ケーブルを「音声入力コネクタ」に接続します。

FM 放送、TV 放送用のアンテナを接続する

- (1) 市販のアンテナ線を「アンテナ入力端子」に接続します。

コンピュータを接続する

- (1) コンピュータの信号ケーブル(DVI)を「コンピュータ入力コネクタ」(DVI-I)に接続します。
- (2) コンピュータの音声ケーブルを「PC 音声入力端子」に接続します。
- (3) リモコンをマウスとして利用する場合は、コンピュータの USB ダウンストリームポートとインターフェースユニットの USB の「アップストリーム」を USB ケーブルで接続します。(P.28参照)

注意点

- コンピュータ接続の際は、当社オプションケーブル「VI200」または「DD200」をご使用ください。
- コンピュータを使用する場合の詳細設定は P.26を参照してください。

6. インターフェースユニットの電源コードを電源コンセントに接続します。モニターのスタンバイランプが点灯(赤色)し、スタンバイ状態となります。



警告

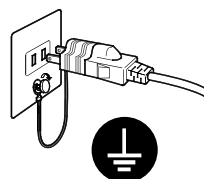
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する



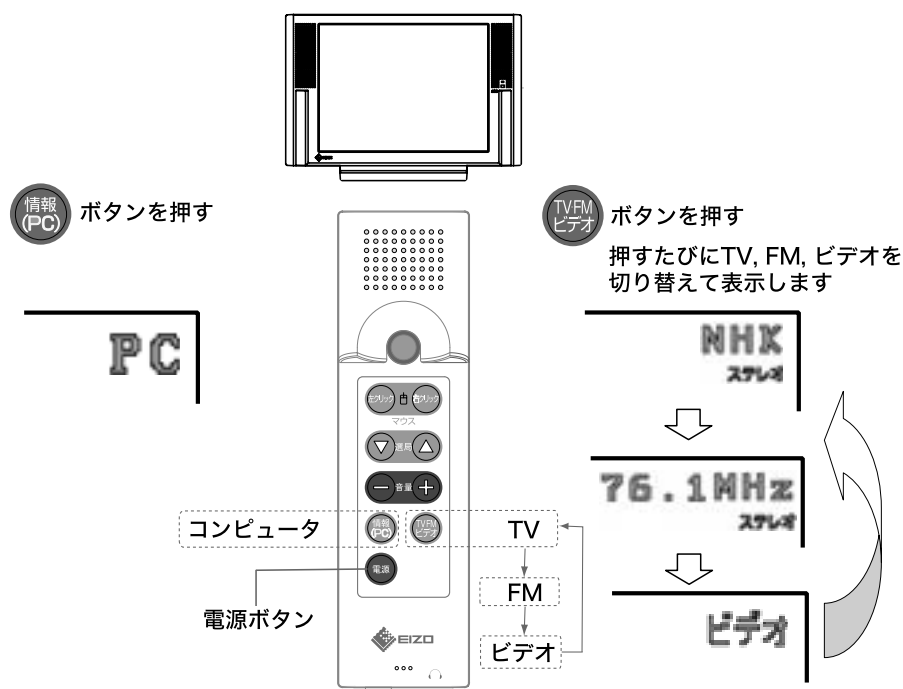
なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

以上で接続は終了します。

7. リモコンの  ボタンを押して電源を入れます。

8. リモコンの 、 ボタンを押して、入力ソース（TV、FM、ビデオまたはコンピュータ）を選択します。

スタンバイランプが消灯し、画面が表示されます（FM の場合は、緑点灯します）。



TV、ラジオをご使用の場合はチャンネル設定を行ってください。⇒「P.21」参照

コンピュータをご使用の場合は画面調整などを行ってください。⇒「P.26」参照

使用後は、リモコンの電源ボタンで、電源を切ってください。

注意点

- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

2-2. タッチパネルの設定について

付属のドライバー用 CD-ROM を使ってタッチパネルのドライバーをインストールしてください。インストールの方法は CD-ROM マニュアルを参照してください。

1. ドライバーをインストールします。

2. 調整ソフトウェア（ツールバーから起動）を使用して、キャリブレーションを実行します。

注意点

- キャリブレーション実行後、タッチパネルの一点を押しつづけたときにカーソルが揺れる場合があります。その場合は、揺れがなくなるようにタッチパネル調整ソフトウェア（ツールバーから起動）の設定をしてください。
[Settings（設定）] タブの[Stabilization(安定化)]を「5」、[Averaging（平均化）]を「10」に設定してください。値を設定しても揺れつづける場合は、設定値を変更してみてください。

第 3 章 調整・設定

OSD（オンスクリーンディスプレイ）の「調整・設定メニュー」とリモコン操作を使って各設定をおこないます。

3-1. 「調整・設定メニュー」の操作方法

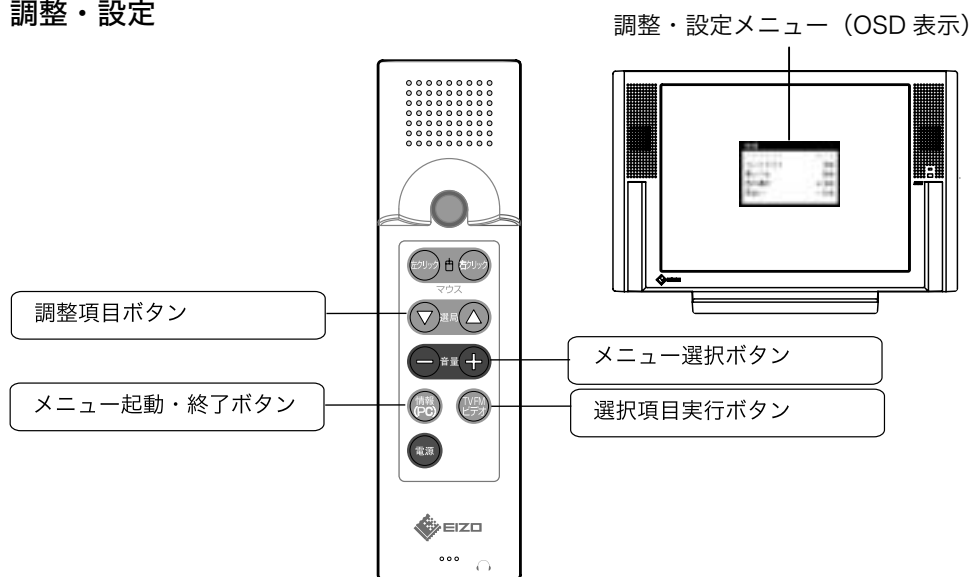
1. メニューの表示

情報 (PC) ボタンを 2 秒以上続けて押すと OSD（オンスクリーンディスプレイ）の「調整・設定メニュー」を表示します。各ボタンは調整ボタンに切り替わります。

注意点

- 「調整・設定メニュー」は 10 秒間操作がない場合は、自動でメニューを終了します。
- メニューの表示位置は、＜設定＞メニューの＜メニューポジション＞で変更できます。

2. 調整・設定



- (1) **情報 (PC)** ボタンを 2 秒続けて押して、「調整・設定メニュー」を起動します。
- (2) **− +** ボタンでメニューを選択します。
- (3) **▽ ▲** ボタンで各メニューの調整項目を選択します。
- (4) **TV/FM ビデオ** ボタンで選択項目を実行します。

3. 終了

情報 (PC) ボタンを押すと終了します。

調整・設定項目一覧

選択できる「調整・設定メニュー」は表示する機器によって異なります。
バックライト（画面の明るさ）とコントラスト以外の調整、設定値は表示機器に共通しています。ただし、*1～*4 は専用の調整項目です。

設定項目		調整内容	T V	F M	ビ デ オ	P C	参照
映像							
	バックライト*1	画面の明るさ	○	—	○	○	P. 24
	コントラスト*1	コントラスト	○	—	○	○	
	黒レベル	黒レベル	○	—	○	—	
	色の濃さ	色の濃さ	○	—	○	—	
	色合い	色合い	○	—	○	—	
音声							
	オーディオモード	ステレオ・モノラル	○	○	○	○	P. 24
	TV 音声	メイン・サブ	○	—	—	—	
	スピーカー	モニター・リモコン・オフ	○	○	○	○	
	バランス	左右の音量バランス	○	○	○	○	
	低音	低音	○	○	○	○	
	高音	高音	○	○	○	○	
	BBE*2	オン・オフ	○	○	○	○	
	PC MIX	オン・オフ	○	○	○	○	
設定							
	メニューポジション	調整メニュー位置	○	○	○	○	P. 19
	設定リセット	全項目を初期設定に戻す	○	○	○	○	P. 33
	レンジ調整*3	レンジ調整	—	—	—	○	P. 26
	カラーモード*3	カラーモード	—	—	—	○	
	パワーセーブ*3	パワーセーブ	—	—	—	○	
TV チャンネル*4		TV チャンネルプリセット	○	—	—	—	P. 21
FM 周波数設定*5		FM の周波数設定	—	○	—	—	P. 23
画面*3		コンピュータ表示画面の調整	—	—	—	○	P. 26

*1 バックライト（画面の明るさ調整）とコントラストの調整について

TV とビデオ表示の調整は、TV 表示画面またはビデオ表示画面でおこなってください。コンピュータ表示画面の調整はコンピュータ表示画面でおこなってください。

*2 「リモコン」のスピーカーからの音声には、BBE 設定は機能しません。

*3 コンピュータ表示画面専用の調整項目です。（アナログ信号入力とデジタル信号入力によって調整項目が変わります。）

*4 TV 表示画面専用の調整項目です。

*5 FM 放送の調整項目です。

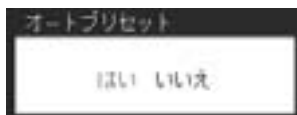
3-2. TV チャンネル設定

1.  ボタンを押して TV 表示画面に切り替えます。
2. リモコンの  ボタンを 2 秒以上押し、「調整・設定メニュー」を表示します。
3. チャンネルのオートプリセットをします

- (1)   ボタンを使って、[TV チャンネル]メニューを表示します。



- (2)   ボタンを使って、「オート」を選択します。
- (3)  ボタンを押して「オートプリセット」メニューを表示します。

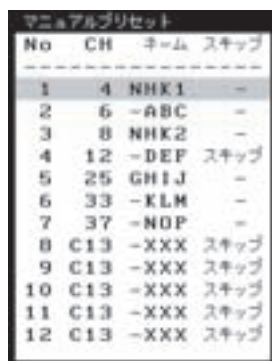


- (4) 「オートプリセット」メニューで、  ボタンを使って、「はい」を選択し、 ボタンを押すと、オートプリセットを実行します。
- (5) 検出画面が表示され、チャンネルは検出順に設定されます。
- (6) チャンネルの検出が終了すると、機能は自動終了します。

4. 不要なチャンネルを<表示しない>設定にします。

TV を見る場合に不要なチャンネルをスキップするように、あらかじめ設定します。

- (1)   ボタンを使って、[TV チャンネル]メニューを表示します。
- (2)   ボタンを使って、「マニュアル」を選択します。
- (3)  ボタンを押して「マニュアルプリセット」メニューを表示します。



No	CH	キーム	スキップ
1	4	NHK1	-
2	6	-ABC	-
3	8	NHK2	-
4	12	-DEF	スキップ
5	25	GHIJ	-
6	33	-KLM	-
7	37	-NOP	-
8	C13	-XXX	スキップ
9	C13	-XXX	スキップ
10	C13	-XXX	スキップ
11	C13	-XXX	スキップ
12	C13	-XXX	スキップ

-
- (4) 「マニュアルプリセット」メニューで、ボタンでスキップしたいチャンネルの No.を選びます（選ばれている No.のチャンネルは水色で表示されます）。
 - (5) ボタンでスキップ欄に移動します。選ばれたネーム欄は表示が変わります。
 - (6) ボタンを押して「スキップ」という文字を表示させるとスキップが設定されます。スキップの設定後はボタンで No.全体が選択されている状態に戻ります。
 - (7) 続けて他のチャンネルにスキップを設定する場合は上記を繰り返します。

5. チャンネルに名前を付けます

チャンネルに放送局コードなどの名前を付けることができます。

- (1) ボタンを使って、[TV チャンネル]メニューを表示します。
- (2) ボタンを使って、「マニュアル」を選択します。
- (3) ボタンを押して「マニュアルプリセット」メニューを表示します。
- (4) 「マニュアルプリセット」メニューで、ボタンでチャンネルの名前を設定したい No.を選びます（選ばれている No.のチャンネルは水色で表示されます）。
- (5) ボタンでネーム欄に移動します。選ばれたネーム欄は表示が変わります。
- (6) 文字はボタンで“0～9”、“A～Z”、“-”の順（またはその逆）で送られます。ネーム欄に表示される“-”はスペースを表します。
- (7) ボタンを押すと右の列に選択が移動します。左の列に戻って編集したい場合はボタンで列を指定します。名前の設定後はボタンで No.を選択できる状態に戻ります。
- (8) 続けて他のチャンネルに名前を付ける場合は上記を繰り返します。

以上の設定をするとTVを見る場合はボタンを押すとスキップ設定以外のチャンネルを No.1 から順に表示します。

3-3. FM ラジオの周波数設定

注意点

- FM 周波数は 76.1 MHz～89.9 MHz の間で、0.1MHz ごとに設定することができます。

1.  ボタンを押して FM 放送に切り替えます。
2. リモコンの  ボタンを 2 秒以上押し、「調整・設定メニュー」を表示します。
3. 周波数の設定をする

- (1)   ボタンを使って、[FM 周波数設定]メニューを表示します。



- (2)  ボタンを押して「周波数一覧」を表示します。

No	周波数	スキップ
1	76.1MHz	-
2	80.5MHz	-
3	82.4MHz	スキップ
4	76.4MHz	スキップ
5	76.5MHz	スキップ
6	76.6MHz	スキップ
7	76.7MHz	スキップ
8	76.8MHz	スキップ
9	76.9MHz	スキップ
10	77.0MHz	スキップ
11	77.1MHz	スキップ
12	77.2MHz	スキップ

- (3)   ボタンを使って任意の番号を選択します。
- (4)   ボタンを使って「周波数」を選択します。
- (5)   ボタンを使って受信する周波数を設定します。

4. 不要な周波数に切り替わらない設定をします

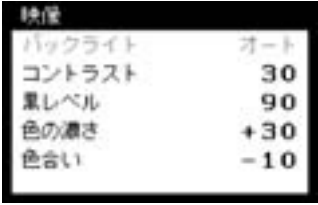
- (1)   ボタンを使って「スキップ選択」（任意の番号を選局できないようにする）を選択します。
- (2)   ボタンを使って<スキップ>（選局しない）と<->（選局する）を選択します。
- (3)  ボタンを押して設定を確定し、 ボタンを押して前画面に戻ります。

以上の設定をすると、FM ラジオを聞く場合は、  ボタンを押すとスキップ設定以外の周波数を No.1 から順に選択します。

3-4. 映像設定

映像の微調整をおこなうことができます。各表示画面に切り替えてそれぞれに設定してください。（「調整・設定メニュー」の操作方法は19ページを参照してください。）

<映像>メニュー項目一覧

調整項目	TV、ビデオ表示画面	コンピュータ表示画面
		
バックライト	バックライトを調整し、画面の明るさを調整します。 オート：モニターのディマーセンサーが、周囲の明るさにより自動で表示の明るさを調整します。 マニュアル：好みの明るさに調整することができます。オートディマー設定は解除されます。	
コントラスト	コントラストを調整します。	
黒レベル	画像の明るさを調整します。	—
色の濃さ	色の濃さを調整します。	—
色合い	肌色の色合いを調整します。	—

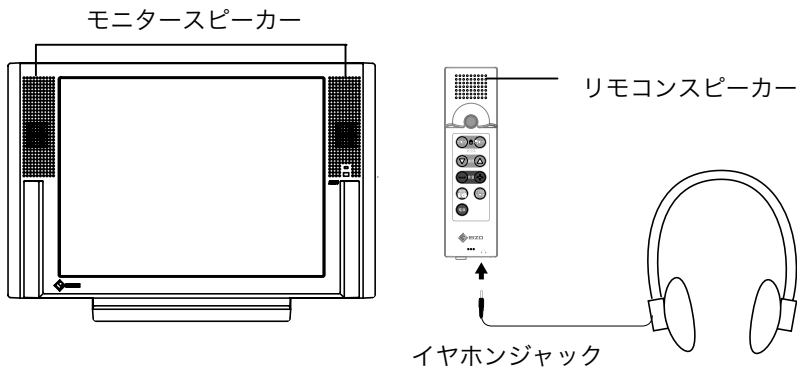
3-5. 音声設定

音声の各設定をおこなうことができます。（「調整・設定メニュー」の操作方法は19ページを参照してください。）

スピーカーについて

スピーカーは、モニターとリモコンについています。＜音声設定メニュー＞の＜スピーカー＞でどちらから出力するかを設定できます。

またリモコンにヘッドホンやイヤホンを接続でき、接続している場合は、スピーカーからの音声出力は停止します。



＜音声＞メニュー項目一覧



オーディオモード	「ステレオ」または「モノラル」を選択することができます。
TV 音声 (TV 表示画面時のみ)	TV 映像が音声多重方法の場合に、音声出力のモードを「メイン」（主音声）または「サブ」（副音声）に切り替えます。 (オーディオモードが「ステレオ」に設定されている場合)
スピーカー	音声の出力先を「モニター」または「リモコン」のスピーカー、「オフ」（音声出力をしない）に切り替えます。 イヤホンを接続すると、スピーカー設定に関係なく、聞くことができます。（スピーカーからの音声出力は停止します）
バランス	スピーカーの左右の出力バランスを調整します。 (スピーカーを使用するときは、モニターのリモコンは、左側スピーカーから出力される音声と同じです。)
低音	設定値が高いほど低音域の量が強調され、低いほど低音域の音が弱くなります。
高音	設定値が高いほど高音域の量が強調され、低いほど高音域の音が弱くなります。
BBE ^{*1}	「オフ」または「オン」に切り替えます。 減衰しやすい高音域を補い位相補正することで本来の自然な音に近づけ、人の声などを聞きやすくします。
PC MIX	「オフ」または「オン」に切り替えます。 スピーカーの音声に PC 音声入力をミキシングします。コンピュータ表示画面では、コンピュータの音声入力だけ出力します。

^{*1} 「リモコン」のスピーカーからの音声には、BBE 設定は機能しません。

3-6. リセット

「調整・設定メニュー」を使って調整した状態を工場出荷状態にリセットすることができます。初期設定値は P.33 を参照してください。

第 4 章 コンピュータを使用する

本機ではコンピュータを接続することができます。コンピュータによって画面や色調整が必要な場合に＜画面＞＜設定＞メニューを使用して調整してください。（「調整・設定メニュー」の操作方法は P.19 を参照してください。）

4-1. 画面調整

アナログ信号を入力する場合は、画面の調整をおこなってください。デジタル信号を入力する場合は、画面調整は必要ありません。

オートアジャスト

以下のような場合には、オートアジャストを実行して画面のちらつきを抑えたり、画像の表示位置やサイズを正しく調整してください。

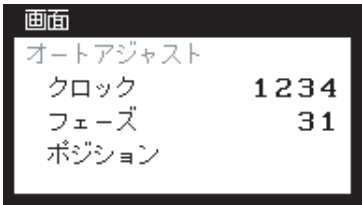
- モニターに今まで接続されたことがないコンピュータから信号が入力された場合
- 入力信号の解像度やリフレッシュレートを変えた場合

注意点

- オートアジャストは画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

【調整手順】

- (1) ＜画面＞メニューの＜オートアジャスト＞を選択します。



- (2)  ボタンを押してオートアジャストを実行します。
- (3) 「実行中」のメッセージが表示され、画面のちらつきを抑えたり、画像の表示位置やサイズを正しく調整します。
- (4) オートアジャストで調整しきれない場合は、クロック、フェーズ、ポジションの各調整をおこなってください。

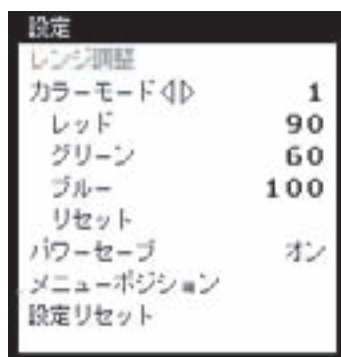
クロック	縦縞が出ている場合に調整してください。
フェーズ	ちらついたり、にじむように見える場合に調整してください。
ポジション	表示位置がずれている場合に調整してください。

レンジ調整 (P.36)

すべての色階調 (0～255) を表示させたい場合は、必ずこの調整をおこなってください。

[調整方法]

(1) <設定>メニューの<レンジ調整>を選択します。



(2)  ボタンを押してレンジ調整を実行します。

(3) 信号の出力レベルが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表示します。

4-2. カラーモード

3つのカラーモード (1～3) が設定できます。<設定>メニューの<カラーモード>で選択してください。また、それぞれのモードで、赤、緑、青の各色を調整することもできます。

注意点

- カラー調整をおこなうときは、まずレンジ調整をおこなってください。

カラーモード	モード 1： 標準的な白色 モード 2： 赤っぽい白色 モード 3： 青っぽい白色
レッド	赤色を調整します。
グリーン	緑色を調整します。
ブルー	青色を調整します。
リセット	3つのカラーモード設定をすべて初期設定値に戻します。

4-3. パワーセーブ機能

コンピュータからの信号がないときにモニターを省電力状態にする機能です。<設定>メニューの<パワーセーブ>でオン、オフの設定をしてください。

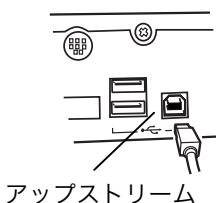
4-4. リモコンをマウスとして使用する

インターフェースユニットとコンピュータを USB ケーブル（別売）で接続することにより、リモコンをマウスとして利用することができます。

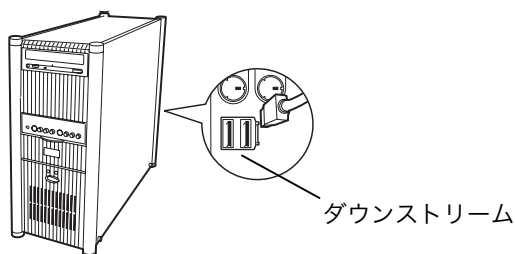
【設定方法】

コンピュータとインターフェースユニットを USB ケーブルで接続します。

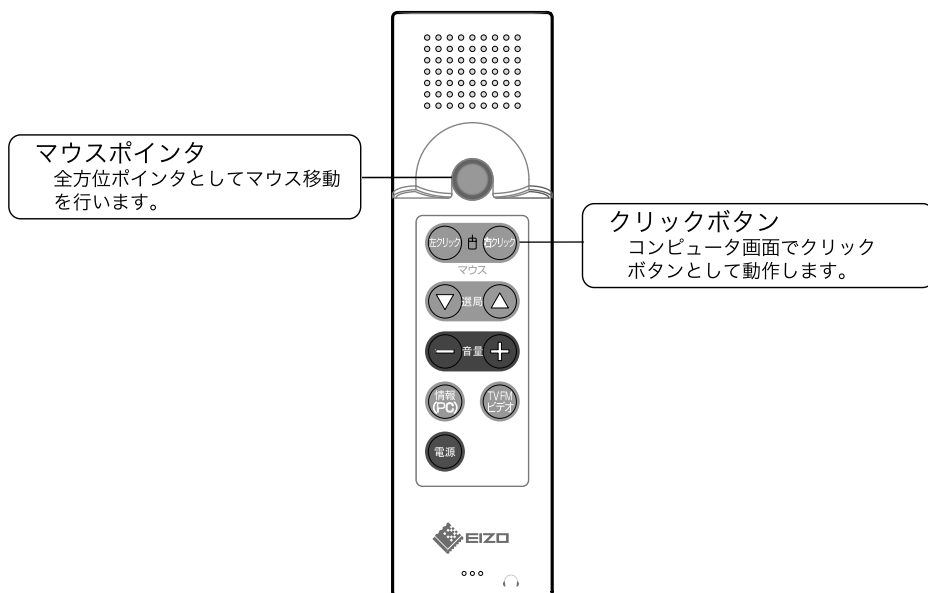
<インターフェースユニット側>



<コンピュータ側>



下記のリモコンボタンはコンピュータ表示画面を選択している間は、マウスコントロールとして動作します。



【注意点】

- コンピュータ画面の表示以外の場合は、マウス機能の動作はしません。
- 「調整・設定メニュー」表示中は、マウス機能の動作はしません。

第 5 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

症状	チェックポイント/対処方法
1. 映像も音声も出ない	☐ 電源コードは正しく差し込まれていますか。 ☐ 外部機器の電源スイッチは「ON」になっていますか。 ☐ モニター端子のケーブルは正しく接続されていますか。
2. 映像が出ない	☐ 明るさは正しく調整されていますか。＜バックライト＞、＜コントラスト＞の設定を確認してみてください。(p.24) ☐ FM 放送になっていませんか。●ボタンを押して他の表示画面に切り替えてみてください。
3. 音声がでない	☐ イヤホンが接続されたままになっていませんか。 ☐ ＜音声＞メニュー、＜スピーカー＞の設定がオフになっていませんか。
4. 画面が明るすぎる/暗すぎる	☐ モニターユニットのディマーセンサーをふさいでいませんか。 ☐ ＜バックライト＞、＜コントラスト＞を調整してください。(液晶モニターのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)バックライトの明るさ調整は、p. 24を参照してください。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る、または点灯しないドットが残る	☐ これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6. 残像が現れる	☐ コンピュータ画面で長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを活用していますか。 ☐ この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面での長時間の使用を極力避けることをおすすめします。
7. TV の映りが悪い	☐ アンテナはインターフェースユニットにしっかり接続されていますか。 ☐ 電波状態が悪い場合も考えられます。

症状	チェックポイント/対処方法
8. (タッチパネル装着モニターの場合) タッチパネルの一点を押しつづけたときにカーソルが揺れる	☐ タッチパネル調整ソフトウェア (ツールバーから起動) の[Settings (設定)]タブ-[Stabilization(安定化)]を「5」、[Averaging (平均化)]を「10」に調整してください(P.18)。 値を設定しても揺れつづける場合は、設定値を変更してみてください。
9. コンピュータ表示画面で、以下のような画面が表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 ☐ コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ☐ コンピュータの電源は入っていますか。 ☐ 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ☐ コンピュータのグラフィックスボードのユーティリティなどで適切な表示画面に変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
10. コンピュータ表示画面で画像の位置が適正でない	☐ <ポジション>を調整してください。
11. コンピュータ表示画面で画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている	☐ <クロック>を調整してください。
12. コンピュータ表示画面で画面全体がちらつく、にじむように見える	☐ <フェーズ>を調整してください。

第 6 章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットやモニターパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- **タッチパネル装着モニターをご使用の場合**
帯電防止剤入りクリーナーは、タッチパネルの感度に影響しますので使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

モニターパネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第 7 章 仕様

モニターユニット

液晶パネル	38.1cm (15.0) 型カラーTFT、0.297mm ドットピッチ ノングレア処理保護パネル、視野角：上下 110°、左右 150°
表示サイズ	304.1mm(H) x 228.1mm(V)
推奨解像度	1024 ドット x 768 ライン
最大表示色	1619 万色
内蔵スピーカー	ステレオ(φ28mm)
寸法	426(W)x301(H)x51(D)mm
重量	3.4kg
モニター接続ケーブル長	全長 3m または 5m (付属アームに内蔵)、または付属なし

インターフェースユニット

入力信号	TV	F 接栓、NTSC 方式 1~62ch/C13~C63ch、日本仕向
	FM	76.1~89.9MHz
	ビデオ(映像信号)	ピンジャック/S 端子、NTSC 方式、同時接続時 S 端子優先
	ビデオ(音声信号)	ピンジャック、L/R
	PC(映像信号)	DVI-I (アナログ/デジタル) VESA DDC 2B 対応
	アナログ	水平走査周波数：24kHz~50kHz 垂直走査周波数：55Hz~75Hz (1024x768 は 55~60Hz) ドットクロック：21MHz~65MHz 入力同期信号：セパレート、TTL、正/負極性 入力映像信号：アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)
	デジタル	水平走査周波数：31.5kHz~48kHz 垂直走査周波数：60Hz, 70Hz ドットクロック：25MHz~65MHz 信号伝送方式：TMDS (Single Link)
USB	PC(音声信号)	ステレオミニジャック
	インターフェース ユニット	アップストリーム x 1 ダウンストリーム x 2 USB 規格: REV. 1.1 準拠 通信速度: 12Mbps (フルスピード)、1.5Mbps (ロースピード) 供給電流: 最大 500mA/ポート
	モニターユニット	ダウンストリーム x 2 USB 規格: REV. 1.1 準拠 通信速度: 12Mbps (フルスピード)、1.5Mbps (ロースピード) 供給電流: 最大 100mA/ポート
電源		100VAC±10%、50/60Hz、0.95A
消費電力		最大 (通常)：55W 節電モード、リモコン電源オフ時：3W 以下
寸法		196(W)x62*1 (H)x250(D)mm

重量	1.6kg
----	-------

*1 突起部含む

リモコン

イヤホンジャック	ステレオミニジャック(φ3.5mm)
通信方式	ワイヤード方式
ボタン（キー）数	10（マウス機能含む）
内蔵スピーカー	モノラル(φ28mm)
使用電源	インターフェースユニットより専用ケーブルで供給
寸法	48(W)×175(H)×24(D)mm
重量	0.3kg
ケーブル長	2m または 3.5m

タッチパネル

対応 OS	Windows 98/Me/2000/XP
通信手段	USB LowSpeed Interrupt 転送
検出方法	アナログ抵抗膜方式

アームユニット

重量	4.4 kg
----	--------

環境条件

周囲温度	動作時	0～35℃
	保存時	-20～60℃
周囲湿度	30～80%R.H.結露なきこと	

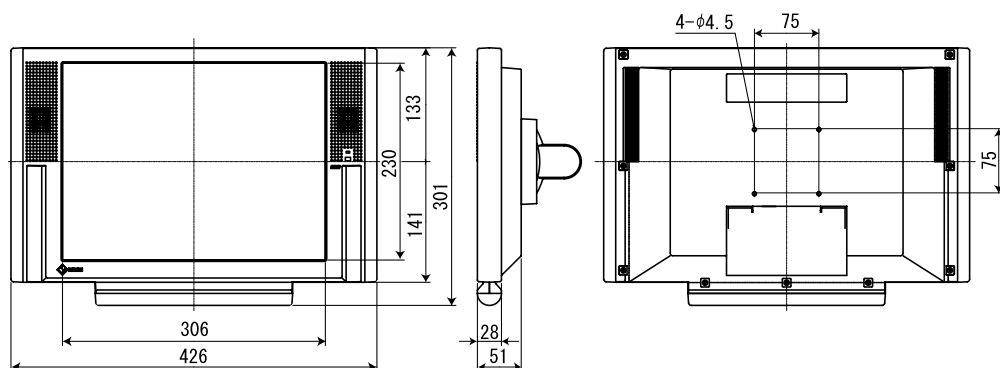
■主な初期設定（工場出荷設定）値

映像	バックライト	オート
	コントラスト	TV・ビデオ: 20 コンピュータ：100
音声	オーディオモード	ステレオ
	TV 音声	メイン
	スピーカー	リモコン
	バランス	0
	低音	0
	高音	0
	BBE	オフ
	PC MIX	オフ
設定	パワーセーブ	オン
TV チャンネル設定		プリセット No.1～35 に 1～35ch を設定 (チャンネル名は ch と同じ)13～35ch をスキップ設定
FM 周波数設定		プリセット No.1～35 に 76.1MHz から 0.1MHz づつ加算した値を設定(全てスキップ設定)

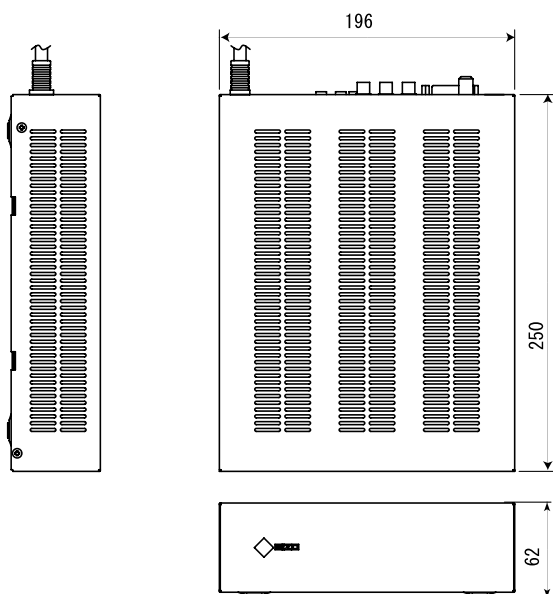
■外観寸法

単位：mm

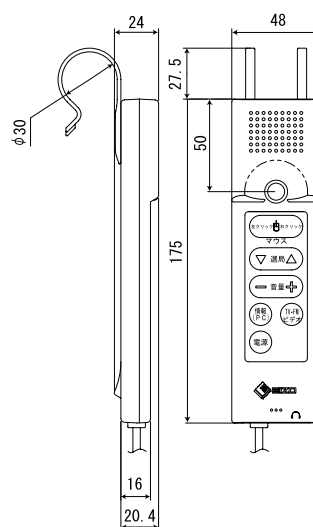
モニターユニット



インターフェースユニット

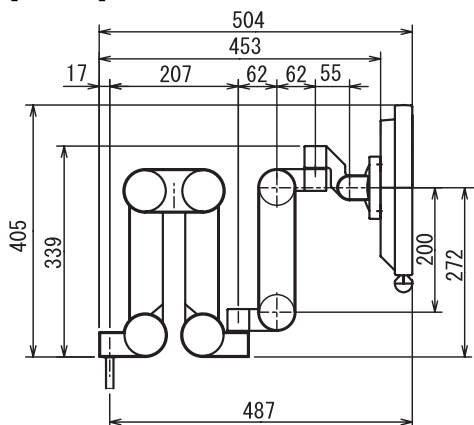


リモコン

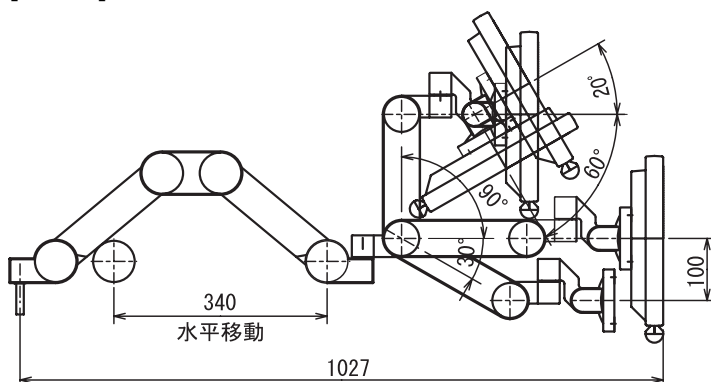


アーム (FV150-AM)

[収納時]



[使用時]



■入力信号接続

● DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC
2	TMDS Data2+	12	NC	22	TMDS Clock shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC	23	TMDS Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC	15	Ground (return for +5V, Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDS Data1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground (analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC		

(*NC: No Connection)

第 8 章 用語集

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本製品の場合は横 1024 個、縦 768 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1024×768 の解像度であれば、画像は画面いっぱい (1 対 1) に表示されます。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

残像現象

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画像を表示してしばらく経過すると解消します。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

アフターサービス

故障/修理に関するお問い合わせ先

最寄りの下記エイゾーサポートにお問い合わせください。

	TEL	FAX
エイゾーサポート仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町 4-3-9 バイパス斎喜ビル	(022)782-9770	(022)782-9771
エイゾーサポート東京 〒143-0006 東京都大田区平和島 6-1-1 東京流通センター 物流ビル B 棟 4F BW4-1	(03)5767-7726	(03)5767-7727
エイゾーサポート名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-6-5 名古屋錦第一生命ビル	(052)232-0151	(052)232-7705
エイゾーサポート北陸 〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地	(076)274-6260	(076)274-2416
エイゾーサポート大阪 〒660-0862 尼崎市開明町 2-11 神鋼建設ビル	(06)6414-3770	(06)6414-3771
エイゾーサポート福岡 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 3-6-11 福岡フコク生命ビル	(092)762-2170	(092)715-7781

* 営業時間/月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日を除く）9:30～17:30

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、インターフェースユニットの底面ラベル上に表示されている8けたの番号です。例)S/N 12345678)
- 使用環境
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品などには重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、セレン、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出してください。

＊個人のお客様

本製品は「家電リサイクル法」対象外のため、自治体の指示に従って廃棄ください。

＊法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
専用電話：076-274-7369	076-274-2416
10：00～17：00 月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日 をのぞく）	24 時間受付 但し、エイゾーサポートからの回答は電 話受付の時間帯となります。

- 廃棄およびリサイクルの情報については、弊社のホームページ（<http://www.eizo.co.jp/>）もあわせてご覧ください。

製品に関するお問い合わせ先

EIZOコンタクトセンター 0120-956-812
受付時間：月～金 9：30～18：00（祝祭日、弊社休業日を除く）

保証書

この保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずお買い上げ年月日・販売店・住所・電話番号の記入をご確認ください。

保証 期間	お買い上げの日より 1 年間	モデル名 /製造番号	(記入または梱包箱側面に添付のラベルを貼付ください)
お 客 様	フリガナ お名前	ご住所 〒	
	様	TEL ()	
販 売 店	お買い上げ年月日 年 月 日		
	住所・店名・TEL・担当者		

保証規定

1. 本製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、保証書を添えてお買い上げの販売店またはエイゾーサポートまでお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書の所定事項が未記入、または字句が書き換えられている場合
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷
 - 車両・船舶などに搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - 電池の液漏れによる故障及び損傷
 - 液晶パネル、バックライト、プラズマパネルの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
 - 外装品（液晶パネル、プラズマパネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
 - 付属品（リモコン、ケーブル、取扱説明書など）の交換
 - 当社指定の消耗品（電池、スイッチ/ボタン/レバー類、回転部など）
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 - * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。なお、保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはエイゾーサポートまでお問合せください。



株式会社ナナオ

〒924-8533 石川県白山市福留町655番地
TEL (076)277-3922 FAX (076)277-3914
<http://www.eizo.co.jp/>

環境保護のため、再生紙を使用しています。

初版 2005年2月 Printed in Japan.

00N0L096A1
(FV-150)